

一般質問通告書

通告順番 4 番

通告者 大塚 勝二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 小中学校の少人数学級・教職員働き方改革について	大津町では少人数学級化や教職員の働き方改革が進んでいるが、全校・全学年で均等に進展しているとは限りません。学級あたり人数や教職員配置の現状を町としてどのように把握し、今後の定数改善や支援員配置の方針をどのように考えているのか。また、ICT 活用や業務改善による負担軽減策の具体的成果、長時間勤務の実態把握と改善目標についても町の見解を求める。そして、再雇用に対する人件費を国の補助事業があり、県に申請して受ける可能性があるかについても町の見解を問う。	教 育 長
2 HPV ワクチンについて	HPV ワクチンは、将来の子宮頸がんや中咽頭がんなど、男女双方に発症しうるがんを予防できる有効な手段である。現在、国では女性の定期接種と期間限定のキャッチアップ接種が実施されているが、男性への公費助成は進んでいません。オーストラリアや英国では男女同時接種により感染そのものを抑え、がん死亡を大幅に減らしているという報告がある。本町でも、男女を問わず若年世代への HPV ワクチン公費導入を検討し、将来のがん死亡抑制と人口減少対策の一助とすべきであると考えている。町の見解を問う。	町 長
3 喫煙所の設置について	公共施設内における受動喫煙防止と火災予防の観点から、庁舎や公共ホールなどに「特定屋外喫煙場所」は設置してあるが、非喫煙者の観点からは、匂いや見栄えが悪い等の懸念もある。また、町内には適切な喫煙場所が少なく、ポイ捨てや火災リスクも心配である。そのため屋内・屋外への喫煙ブースを設置できないか問う。厚労省や JT の助成制度を活用すれば、町の負担を抑えて安全で清潔な分煙環境を整備できると考える。町として、公費や国の補助を活用した設置の検討を求めたい。町の見解を問う。	町 長